

第6回 全日本 学生フォーミュラ大会開催を祝して

Congratulatory Message for The 6th Student Formula SAE Competition of Japan



文部科学大臣
渡海 紀三朗

第6回全日本学生フォーミュラ大会の開催を、心からお慶び申し上げます。

我が国が、激動の21世紀においても国際競争力を発揮して、世界に冠たる「科学技術創造立国」であり続けるためには、技術革新と、それを生み出すための技術の蓄積が必要です。さらに、チャレンジ精神旺盛な若き技術者を育てるとともに、人類共通の財産として培ってきた科学技術を彼らに引き継いでいくための営みもまた、不可欠なものです。

本大会は、次代を担う技術者の育成を目的とする点、さらには、作り上げた自動車の速さのみを追求する競技会でない点、チーム単位での参加を求めている点において、極めて有意義なものであると考えております。

工学を学ぶ全国の学生がチームを組み、自動車の企画、設計、製作、試験という一連のものづくりに取り組む過程で、日ごろ学んでいる工学の知識はもちろん、一技術者集団として、実践的な問題解決力、コスト意識、マネジメント能力など、普段の教室では意識されることの少ない要素が求められます。本大会を通し、ものづくりの世界で活躍する技術者が実際に直面している様々な課題と向き合い、それを乗り越えるために挑戦していくことは、今後、技術者として産業界を目指す学生にとって、得難い経験になるものと考えます。

第6回目を迎える今回は、国内外から77チームが参加するなど、年を追って参加校が増えています。これは本大会が社会から高く評価されていることの表れであり、大変喜ばしく思います。

学生諸君が、本大会を契機に研鑽を積み、将来の我が国の産業界を支える技術者として御活躍されることを祈念しております。

本大会に出場された各チームの皆様、指導教員や学校関係者の皆様の御健闘をお祈りするとともに、社団法人自動車技術会をはじめ、本大会の企画・運営を支えられた皆様の御尽力に敬意を表して、お祝いの言葉といたします。